

## 平成30年度、令和元年度 伝承あそび研究会 活動報告

初等教育科 島田知和

### 1. 伝承あそび研究会について

伝承あそび研究会は、平成30年度より活動を開始し、今年度で2年目となる。伝承あそび研究会では「けん玉」「あやとり」「お手玉」「かごめかごめ」など、時代を超えて子どもたちの間で愛され、受け継がれてきた伝承あそびの魅力に迫り、その楽しさを子どもたちに伝えていくことを目的としている。

写真1. 研究会が実際に使っている玩具



主な活動内容として、実際に保育園や幼稚園等を訪問し、子どもたちと一緒に伝承あそびをしたり、手作りおもちゃを作ったりと、楽しく遊ぶ活動を行っている。またわくわくフェスティバルや学外のイベント等において、子どもたちと遊べるブースを設置するような活動も行っている。

### 2. 伝承あそび研究会活動報告

伝承あそび研究会2年間の活動は表1に示す通りである。

表1. 伝承あそび研究会活動

日 時	活動内容
平成30年7月1日(日)	第2回アトリうむ遊園地
平成30年7月4日(水)	春木保育園
平成30年11月14日(水)	わくわくフェスティバル
平成30年12月5日(水)	別府大学附属幼稚園
令和元年6月5日(水)	駄菓子会
令和元年7月3日(水)	別府大学附属幼稚園
令和元年7月13日(土)	第3回アトリうむ遊園地
令和元年11月13日(水)	わくわくフェスティバル

次に伝承あそび研究会の活動について、概要を報告する。

#### (1) 保育園、幼稚園等での子どもとの交流

伝承あそび研究会の主な活動の一つとして、保育園、幼稚園等の施設を訪問し、子どもたちと一緒に伝承あそびを通して交流する活動があげられる。活動の流れとして、まず伝承あそびに興味を持てるよう「けん玉」「お手玉」「コマ」などを子どもたちの前で実演している。

その後、あそびごとに「けん玉コーナー」「お手玉コーナー」などを設置し、子どもたちが怪我をしないように見守りながら、遊び方を伝えたり、また子どもたちが遊びやすいような援助を行っている。

写真2. 伝承あそびの実演



写真3. 各コーナー準備の様子



こうした交流の流れや様式が徐々に定まってきた背景には、活動終了後の「反省会」による学びが大きかったといえる。研究会が始まった当初の交流では、活動の流れや様式について十分に定まっておらず、不慣れな活動の中で課題も多かった。このような中で、どうしたら子どもたちとより安全に楽しく遊べるかなど学生自身が課題意識を持ち、得られた反省を次に生かすよう工夫してきたことが伝承あそび研究会が行う子どもとの交流の様式の確立につながったといえる。

写真4. 初回の反省会の記録



## (2) 駄菓子会

今年度より、研究会の親睦を深めるために「駄菓子会」を行った。学生それぞれが好きな駄菓子を持ち寄り、紹介したり、お互いのものを交換したりしながら楽しく交流した。

写真4. 駄菓子会の様子



### 3. 伝承あそび研究会2年間の活動を振り返って

2年間の活動を振り返り、学生からの感想を記載する。



この2年間、伝承あそび研究会を通して、昔の玩具の遊び方や、その面白さ、魅力などについて知ることができました。また昔の玩具を使って子どもたちと一緒に遊ぶことができたことが、とてもいい経験になりました。子どもたちへ、なかなか普段体験できないような、こういった遊びもあるということを伝えることができました。

1年生の皆さん、研究会を運営していく上で、課題もまだまだあると思いますが、伝承あそびの幅を広げながら、これからも楽しく活動を頑張ってください。

2E 山本紗生



### 4. 今後の展望について

伝承あそび研究会が発足し、2年が経ち、少しずつではあるが、研究会としての方向性が見えてきた。今後もさらに活動の幅を広げ、子どもたちへ伝承あそびの魅力や楽しさを伝えたり、子どもたちとの関わりについて、実体験を通して学んでいきたい。